

『2025年度版 採点官はココで決める！
社会人・経験者の合格論文＆面接術』
訂正表

(初版第1刷)

● 185 ページ : (初版第2刷で修正予定)

下から9行目(第2に、の前)に文字抜けがありました。

追加 のようにテーマを分解して、自分の意見を見つけていくのです。

同最終行(の協働が重要)の前)に文字抜けがありました。

追加 のようにするのは。こうすると、「少子高齢化社会のまちづくり」には「地域

第1に、「箇条書き」思考で対応することです。

①少子高齢化→②高齢者が増える→③認知症や寝たきりが増える→④認知症予防や介護予防の取組みを行う

のようにテーマを分解して、自分の意見を見つけていくのです。

第2に、自分が答えられる内容に当日のテーマを結び付けることです。「地域の協働」は十分知っているものの、「少子高齢化」には詳しくないとします。このような場合、

少子高齢化の進行→核家族化により、少ない子供たちがさらに孤立する→地域の協働が重要

または

少子高齢化の進行→高齢者が多い→多くの高齢者が生き生きと暮らせる地域社会が必要→地域の協働が重要

のようにするのは。こうすると、「少子高齢化社会のまちづくり」には「地域の協働が重要」という主張で、論文を書き進めることができます。

以上

株式会社 実務教育出版